

株式会社プロパックホールディングスと「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち}半沢 淳一）は、株式会社プロパックホールディングス（代表取締役社長 坂本 兼司郎）との間で2024年6月20日付で締結していたローン契約について、今般、ローン・マーケット・アソシエーション^[1]等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した「サステナビリティ・リンク・ローン」形式の変更契約（以下 本契約）を締結いたしました。本契約は、MCPキャピタル株式会社（代表取締役 佐藤 正秀）が業務受託するファンド（MCP6投資事業有限責任組合）によるプロパックグループの株式取得に係るLBOローン契約に基づくものです。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下 SPT）を設定し、金利などの貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本契約では、プロパックグループの中核会社である株式会社フジダン（代表取締役社長 坂本 兼司郎、以下 フジダン）の主要工場におけるCO₂排出原単位の削減率を SPT として設定し、SPT 達成状況に応じて優遇金利が適用されるインセンティブが付与されています。

フジダンは、設立以来 70 年超に渡り一貫して段ボールシート及び段ボールケース等の製造販売を行っており、国内でも成長率が高い関東市場において、高品質・短納期・中小ロットへの対応力等を強みとして確固たる顧客基盤を築いております。段ボールの原料である段ボール原紙は、古紙利用率が 90%以上である等リサイクル率が高く、環境保護と資源循環の観点から重要な役割を果たしております。本契約に伴って更なる生産効率の改善活動へのインセンティブを強め、それを通じたコスト削減や生産キャパシティの増加が可能となり、企業価値向上の一助となることに加えて、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低減を通じた企業としての社会的責任を果たすことに繋がることから SPT を設定しました。

本契約では、株式会社日本格付研究所（以下 JCR）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。